

令和8年度 松本市立開明小学校 グランドデザイン

開校の理念「子どもたち一人ひとりは、未来に生きるかけがえのない大切な命を持っている。子どもたちがその生涯を生きていくために、さまざまな課題を克服し、その知恵と勇気と、健康でたくましい心身をもって取り組み、乗り越え、解決しながら人間性豊かな社会を創造していくことができる人間の基礎づくりを目標とする」

校名「開明」の由来
人智を広げ
知恵を磨き
文化をすすめる

学校教育目標
正しく
かしこく
たくましく

「エージェンシー」
変化を起こすために、
自分で目標を設定し、振り返り、
責任をもって行動する能力
～これからの社会を生きる子どもたちに必要不可欠～
※OECD「エージェンシー」(2018年)第10位(世界)

校長の願い「学校は楽しいところ」
社会の仲間である学校で、他者とともに学び、社会を知ることで、人とかかわりのよさや生きることの楽しさが育ち、喜びに触れ、自己の成長を実感する。こうした自己更新の営みを「楽しい」と感じられる子どもと教職員が育つ学校でありたい。

～多様性を尊重し、一人一人の「学び」と「育ち」を大切に～
ウェルビーイング

めざす学校の姿 「みんなが 幸せ な学校」

開明小学校の「ウェルビーイング」

子ども「～たい」をもって挑戦し、ステップアップを楽しむ
保護者 学校のパートナーとして、協働して子どもの育成を促す
地域 世代を越えて交流し、地域のコミュニティづくりの拠点にする
教職員 自己課題をもち、挑戦し、学び続ける

学校づくりの合言葉

いってみよう！きいてみよう！やってみよう！

～育みたい力「エージェンシー」～

伝える力・決める力

自分の気持ちや考えを自分らしい言葉で伝え、対話を重ね納得のいく選択をする力

助けを求める力 支える力

他者・自己に耳を傾け、共感しながら必要な支援を引き出す力

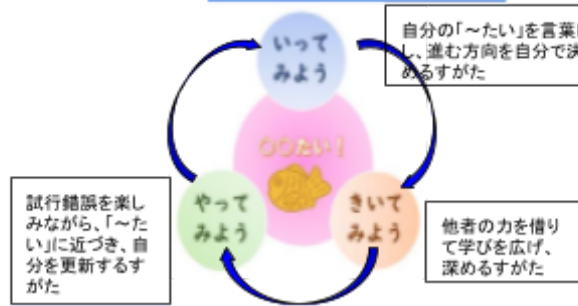
はじめる力 続ける力 やり遂げる力

挑戦し、失敗から学びながら、最後までやりとげ、向上を実感できる力

本校の子どもたち

○「みんなでやろう！」「やってみよう！」集団で、素直に取り組んでいく反応の良さがある。学びを積み上げているという実感をもちつつある。
△「困っても助けを求めにくい」傾向や、教師や周囲の様子をうかがい、失敗を恐れて「自分で決める」のではなく、「やらされる」感をもつ傾向にある。

めざす子どものすがた「学び」を楽しむ子ども



本校の教師たち

○ビジョンを共有し、子ども一人一人を丁寧に見守る誠実さと、互いに支え合おうとする同僚性の文化を醸成している。
△「時間の余白」が少なく、「委ねる」ことに不安をもち、責任感の強さから、「自分ががんばらなければ」と感じる傾向にある。

めざす 教師のすがた「子どもの『～たい』からはじめる教師」～子どもに伴走し、自走する教師集団
～自己課題をもち、共に学び合い、挑戦して、「教師エージェンシー」を伸長する教師の学びの展開～

いってみよう！「共有タイム」

教師としての願いや問いをもつ

「合い言葉」をもとに子どもの学びと育ちを語り合い、「観」を分かち合う

①たい焼きタイム

やってみよう！「自己課題タイム」実践して振り返り、次のステージへ

きいてみよう！「学びタイム」対話して学び深める

②子どもを語りタイム

重点1【授業改善】

「たい焼き」から出発して「自己更新を楽しむ」「探究的な学び」への転換

- ①「どっちの方法でやる？」「誰かにきこう！」がある授業
- ②正解を見つけることより、「昨日の自分を超越していく」ことを楽しむ授業（「問い」や「願い」からはじめる）
- ③自分の言葉、友達や先生、道具や資料を「使いこなす」授業

重点2【児童理解・キャリアアップ】

心理的安全性を基盤とした伴奏
子どもの姿でアウトプット

- ④抱え込まず、相談し合って、安心につながる同僚性。「困った」を言える同僚性。チームでの児童理解。
- ⑤「7つの力※」が動いた瞬間を見つけて言葉で返す。「7つの力」を指標とした多面的なみとりと評価。
- ⑥「教える」から「共に学ぶ」へ、先生も挑戦。子どもといっしょにワクワクできる「伴走者」に。

～学校に関わる全ての人のウェルビーイングのために～

いっそうの深化

保護者・地域のエージェンシー

「子どもが主人公」の
マインドセット

「合い言葉」の再定義
と実践につながる
職員研修

学習面、生活面における
早期支援体制の充実

学年を超えた縦割りの
異年齢集団活動（継続）

・「楽しい」と感じる
学校環境づくり
・外国由来児童への支援拡充

開明小ユニバーサル
デザインに基づく
学級経営

「質の高い授業」と「余
白」の両立
・日課の工夫・教科
担任制・校務改善

「余白」のための
「40分授業」試行

児童が主体的に参
画する行事運営
（継続）

「つながりリスト」を作成し、
地域と学校が共に学ぶ仕
組みづくり

